

第198回 教育研究評議会議事要録

日 時 令和2年10月20日(火) 16時00分～16時20分

場 所 大学本部棟5階第1会議室(TV会場:医学部管理棟2階学長室)

出席者

(評議員) 島田学長、早川理事、村松理事、袖山理事、杉山理事、武田理事、岩崎副学長、
風間副学長、中村教育学域長、中尾医学域長、熊田工学域長、奥田生命環境学域長、
西久保附属図書館長

大隅・古家・榎本・小谷・中山・黒澤・佐藤・飯山 各教授

(列席者) 市川理事、齋藤監事、山田学長補佐、小林総務部長、池田施設・環境部長、
窪田教学支援部長、渡邊研究推進部長、茅国際部長、野中医学域事務部長、
田中監査課長、志村企画課長、石原総務課長、安田施設企画課長、齋藤教務企画課長、
網倉教育学域支援課長、小林工学域支援課長、石原生命環境学域支援課長、
植村総務課課長補佐

議事要録確認

第197回教育研究評議会(2.9.15開催)議事要録を確認した。

報告事項

1 医学部附属病院長候補者の選考結果について

島田学長から、令和3年3月31日で任期満了となる医学部附属病院長の後任候補者について、以下のとおり選考した旨報告があった。

・榎本 信幸 教授(医学域臨床医学系)

併せて、次期附属病院長候補者である榎本教授から挨拶があった。

11 Y I N S - C N S スマホ版アプリの公開について

袖山理事から、資料10により、学生向けに標記アプリを開発・公開し、後期ガイダンス時にチラシの配布を行い、掲示板に掲載したこと及び今後は定期的に掲示板(CNS)等で適宜周知すること等について報告があった。併せて、各学域において学生への更なる周知にご協力いただきたい旨依頼があった。

なお、島田学長から、スマホ版アプリの利用は、学生への周知に効果的であるので、安否確認システムとの連携を進めて欲しい旨発言があった。

報告事項2～10(資料1～9)及び報告事項12(資料11)については、新型コロナウイルス感染症防止の観点(会議時間短縮)から、説明を省略して各自確認することとし、意見等がある場合は、担当理事に連絡願うこととした。

- 2 役員会の開催状況について（資料1）
- 3 大学院総合研究部会議の開催状況について（資料2）
- 4 助教の採用報告について（資料3）
- 5 学生の学籍異動について（資料4）
- 6 令和2年度卒業（修了）予定者進路状況について（資料5）
- 7 令和3年度概算要求の状況について（資料6）
- 8 令和3年度施設整備概算要求の状況について（資料7）
- 9 令和2年度優秀研究者の学長特別表彰について（資料8）
- 10 令和2年度予算の早期執行について（資料9）
- 12 令和2年度 電気使用量及び使用金額について（資料11）

審議事項

1 教員の採用（昇任）選考（案）について

袖山理事及び中尾医学域長から、資料12及び机上配付資料により、次の教員に係る選考経緯等について説明があり、審議の結果、これを承認した。

- ・令和2年11月1日以降昇任 医学域臨床医学系 教授1名（公募）

2 融合教育プログラムの整備（新コースの設置）（案）について

早川理事から、資料13により、生命環境学部と医学部の連携による学部レベル融合教育プログラムについて、関係者による検討部会を設置し、具体的な検討を次のとおり進めることについて説明があり、審議の結果、これを承認した。

- ・生命科学・医学・薬学分野の数理・データサイエンス教育等を行う新コースを生命工学科内に設ける方向であり、脳科学など医学・薬学の基礎知識を有し、感染症等にも対応できるデータサイエンティストを育成すること。
- ・デジタル技術を活用した遠隔授業の推進、新センター（令和3年度概算要求中の山梨GLIAセンター）や他大学（県立大学、明治大学）などとの連携による新たな教育を展開すること。

併せて、文科省補助金「知識集約型社会を支える人材育成事業」（事業計画名：数理・データサイエンスをプラットフォームとした融合教育の新展開）について、書面審査を通過し、11月13日（金）に面接審査（ヒアリング）が実施される旨報告があった。

3 施設・スペースの使用許可申請（案）について

杉山理事から、資料14により、人事異動に伴う申請6件、病院再整備に伴う申請1件及びプロジェクトに伴う申請1件について説明があり、審議の結果、これを承認した。

※次回会議 令和2年11月17日（火）16時00分からの開催を確認した。